

## あか牛の元祖 第一ルデー号

阿蘇中央高校清峰校舎にある骨格標本。スイス産の第一ルデー号(右写真)と阿蘇地方の在来牛からあか牛が誕生した。体高168㎝、体重1500kgの大柄な体格が特徴。



特集



# 大解剖!

# 阿蘇のあか牛

# 1



## あか牛とスイスの関係

阿蘇といえばあか牛、あか牛といえば阿蘇。私たちが普段目にする光景に、当たり前のよう存在するあか牛は、阿蘇にとって欠かすことができません。草原にたたくあか牛は、まさに阿蘇の代名詞として、現代に引き継がれています。

あか牛が誕生したのは、明治中期から大正時代にさかのぼります。当時、熊本県と高知県で飼育されていた牛に、スイス産のシンメンタール種(上記参照)という牛を交配。阿蘇農業学校(現在の阿蘇中央高校)の百瀬葉千助校長らが中心となり、品種改良を重ね、現在の見事なあか牛が誕生したと言われています。

その後も改良が重ねられ、昭和19年に「褐毛和種」と命名され、日本固有の肉用種として認定されました。現在は、日本で2万4500頭のあか牛が飼育されており、そのうち、阿蘇市では約1500頭が飼育されています(次ページ参照)。ただし、あか牛は頭数生産者ともに減少の一途を辿っており、危機感を感じる生産者も少なくありません。かつて、農耕用にほとんどの農家で飼われていたあか牛。牛小屋がある風景も徐々に減ってきました。

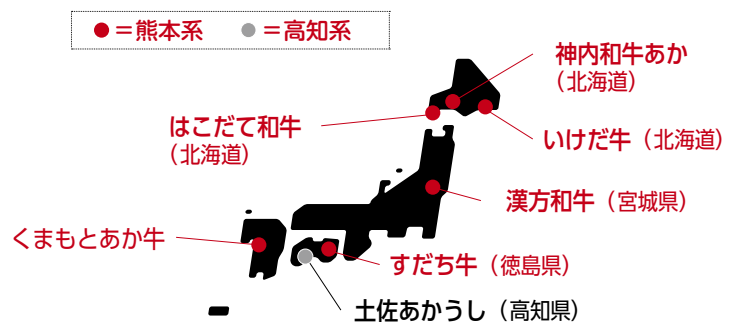
今月号は、畜産業としてのあか牛生産の現状と、食用、文化的側面からあか牛の魅力に迫ります。

(参考) 一般財団法人全日本あか毛和牛協会 HP



## 全国各地で飼育される "あか牛"

あか牛は、「熊本系」と「高知系」の2つに分かれます。特に阿蘇地域で飼育される熊本系は、北海道をはじめとして全国各地で飼育されています。肉用和牛のうち実に95%は黒毛和牛となっており、褐毛和牛の全体に占める割合は少数ですが、脂肪分が少ないヘルシーな牛肉として知られるようになり、徐々に人気を集めています。

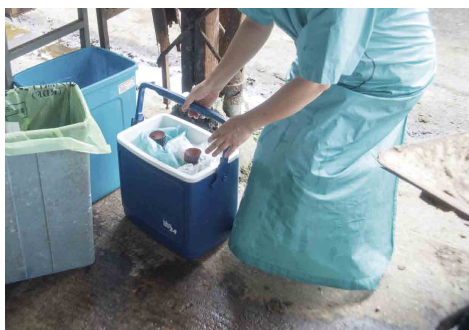


[あか牛全国分布図]



## 草地畜産研究所

阿蘇市西湯浦にある草地畜産研究所では、標高1,000m、230万平方mの土地で豊富な草資源を生かした低コスト家畜生産を目指す。牧草の栽培利用技術開発や牛の放牧を利用した生産技術の開発研究などを行っている。



獣医師の資格を持つ熊本県の職員が、毎週金曜日に採卵を行う。迅速な作業行程でわずか30分たらずで採卵は終了。(写真上) 容器に入れられた受精卵は、合志市の畜産研究所に持ち帰られ、即座に冷凍保存される。(写真下)

一時的な流行りではなく、草原再生という視点からも、あか牛に限らず阿蘇には牛が必要なんだということを皆さんに認識してもらい、この事業を通じて、熊本の牛と生産者が増えるきっかけになればと願います。

減少するあか牛を増やす取り組みとして、熊本県では昨年「あか牛新生産システム緊急事業」に取り組んでいます。この事業は、30頭のドナー牛から受精卵を採卵し、別の牛(ホルスタイン牛)に移植させるというもので、昨年は500個を採卵し、移植させました。こ

現在、熊本県内のあか牛の飼育数は減少の一途を辿っており、この阿蘇でさえ家畜市場では黒牛の方が上回っている状況です。特に県南では、ほとんど飼育されておらず、あか牛の存続は危機的な状況にあると言えます。

好まれ、比較的経済効果も高いことから、あか牛から黒牛生産に切り替わっていったと考えられます。

あか牛も近年では改良が進み、肉もやわらかく味も良いことから、ヘルシーな牛肉として改めて見直されています。

あか牛は成長が早く気性も穏やか

# 3

## お腹を借りて、あか牛増やす取り組み



熊本県農業研究センター  
草地畜産研究所

研究参事 山口寛二さん



### 全国的にも珍しい道路標識

放牧される草原脇の道路で見かける「牛馬注意」の道路標識。阿蘇地域ではよく見る標識だが、全国的には珍しい。

私は小さいころから農家になることが夢でした。それは、祖父の背中を見て育ち、田んぼや牛舎が遊び場で、そのさまざまな体験が楽しいと思えたからです。祖父を見てみると、辛さを感じさせずいつも笑顔で仕事をしていたのが印象的でした。

高校を卒業して、すぐに経営を任せられ、翌月には家畜市場に行きましたが、その光景を目の当たりにし、仕事としての責任を感じました。

畜産家として、ことしで4年目を迎えますが、生き物が相手の仕事なので、気候に左右され病気もするので、管理



若手肥育農家

橋本 凌さん  
(22歳、黒流町)

がとても難しいと感じます。病気で牛を死なせてしまったときはとても落ち込みました。そんなとき、祖父から「死なせてしまったことも一つの経験。次に失敗しなければいい」というアドバイスをもらい、より一層、管理に力を入れました。

畜産農家のつながりは深く、畜産家になったばかりのときは、右も左も分かりませんでした。交流を通じ多くの皆さんに助けられました。

今、畜産の現場ではあか牛の値段がこれまでになく高値になっていますが、市場価格は相場に大きく左右されます。そこで、市場価格が暴落したときの緩和措置を図ってもらえればと思います。また、後継者が少ないことから、これから畜産業を営む人にとって牛を飼育しやすい環境を提供するなど、生産者の励みになるような政策をしてもらいたいです。

阿蘇の草原の草は栄養価も高く、牛は広大な原野でのんびり草をはむことで、牛の体調も整えることができるな



日頃は笑顔が絶えない橋本さんも、作業の際は真剣な表情で取り組む。

ど、とても恵まれた飼育環境が揃っています。「草原Ⅱ牛」という阿蘇ならではの環境を絶やさないとともに、草原を維持するための活動に力を入れていかなければと考えています。

将来は、畜産業ではなく幅広く農業を拡大し、「阿蘇に橋本あり」と言われるように頑張っていきたいと思いません。

# 4 若き後継者があか牛を守る

## モーモーフェスタ&共進会

毎年行われる牛馬とのふれあいを楽しむモーモーフェスタ。同時に行われる阿蘇地域畜産共進会では、生産者が手塩をかけて育てた自慢の牛馬の審査が行われ、各部門で首席を決める。



○阿蘇地域畜産共進会名誉賞首席一覧(敬称略)

| 部門        | 氏名(住所)                |
|-----------|-----------------------|
| 褐毛 子牛の部   | 岩下茂子 (波野)             |
| 同 育成1部    | 岩下浩徳 (波野)             |
| 同 育成2部    | 坂口静義 (尾ヶ石)            |
| 同 登録の部    | 下村善計 (尾ヶ石)            |
| 黒毛 子牛の部   | 阿部樹範 (内牧)             |
| 同 育成1部    | 渡辺和広 (産山)             |
| 同 育成2部    | 渡辺敬一 (黒川)             |
| 同 登録の部    | 渡辺和広 (産山)             |
| 肉牛の部      | 阿蘇品豊 (古城)             |
| 種馬 子馬の部   | 徳永大記 (黒川)             |
| 同 育成馬の部   | 竹原栄二 (黒川)             |
| 同 成馬の部    | 佐藤良一 (尾ヶ石)            |
| 乳牛 未經産牛1部 | 旬ドリーム<br>ファーム山本 (尾ヶ石) |

会場では、子どもスケッチ大会やジェットシューターを使った「大阿蘇火消し競争(標的倒し)」などのユニークな催しも行われました。

同会場では、阿蘇地域畜産共進会が行われ、愛情を注ぎ育てた牛馬が各部門で審査され、左記のとおり首席が決まりました。首席をとった牛馬は10月に行われる熊本県畜産共進会に阿蘇地域の代表として出陳される予定です。(乳牛の部は9月に実施)

牛馬との触れ合いを楽しんでもらおうと、阿蘇市が毎年開催しているのがモーモーフェスタです。ことしも8月29日に熊本県畜産農業協同組合阿蘇支所を会場に行われ、あいにくの天気にも関わらず多くの来場者で賑いました。

# 5

## ふれあいで感じるあか牛の魅力



④



①



②



⑤



③

①あか牛のバーベキューに舌鼓をうつ来場者たち。ヘルシーなあか牛は人気で「美味しい」と好評。 ②草原再生の一環として行われた和紙づくり体験 ③野焼きに使用するジェットシューターを使った標的倒しゲーム ④共進会で首席に輝いた子牛(岩下茂子氏飼育) ⑤県重要無形民俗文化財指定の「阿蘇の牛舞」を宮地小の児童が披露。